

ナショナルバイオリソースプロジェクト
中核的拠点形成プログラム（オオムギ）平成26年度第一回運営委員会議事次第

日時：平成26年5月16日 13:30から17:00（16:30から施設等見学）

場所：岡山大学資源植物科学研究所 史料館3F

参加者：

課題管理者	佐藤 和広	岡山大学資源植物科学研究所
委員長	掛田 克行	三重大学生物資源学部
委員	小松田隆夫	農業生物資源研究所
	土門 英司	農業生物資源研究所（遺伝資源センター）
	辻本 壽	鳥取大学乾燥地研究センター
	山崎 由紀子	国立遺伝学研究所
	柳沢 貴司	作物研究所
	加藤 鎌司	岡山大学農学部
	前川 雅彦	岡山大学資源植物科学研究所
	武田 真	岡山大学資源植物科学研究所
	吉田 英哉	岡山大学資源植物科学研究所
	最相 大輔	岡山大学資源植物科学研究所
久野 裕	岡山大学資源植物科学研究所	

欠席	五月女敏範	栃木県農業試験場
	村田 稔	岡山大学資源植物科学研究所

議 事

報告事項

1. 平成25年度経過報告
2. 平成26年度事業計画

- ・ 課題管理者より25年度の事業結果と26年度の計画の説明があった。
- ・ 課題管理者より「ゲノム情報等整備プログラム」への応募に関する説明があり、以下の質疑応答があった。
 - （掛田委員長）解析予定の「BCS393」の特徴は？
 - （課題管理者）イラン原産のスポンタニウム亜種でゲノム置換系統等の整備を進めている。
 - （掛田委員長）「H602」と「BCS393」の類縁関係は？
 - （課題管理者）「H602」はカスピ海の東、「BCS393」イラン原産で遠縁であると考えられる。両者に顕著な形態の違いが見られる。
 - （小松田委員）ゲノム配列情報の解析はどれぐらい双方（岡大とかずさDNA研）が分担するのか？
 - （課題管理者）主に、かずさDNA研が負担する。オオムギゲノム「Morex」V1.0が公開されるため、それに基づくデータベースの整備を進める。
 - （小松田委員）情報解析に関してのサポートは、かずさDNA研で行ってもらえるのか？
 - （課題管理者）共同研究として人件費に計上している以上の人的サポートをしてもらえると考えている。岡山大側も、吉田委員が共同研究者として参画予定である。
 - （掛田委員長）「はるな二条」のドラフトゲノムも「Morex」同様に公開されるのか？
 - （課題管理者）現在、吉田委員が解析中。「はるな二条」は完全長cDNAがあるので、ゲノム配列との比較解析が重要である。
- ・ 課題管理者より世界種子貯蔵庫への種子預託に関する説明があった。

(辻本委員) 今後の予定は？

(課題管理者) 追加の種子(約2500系統)は準備してある。順次発送予定。

(辻本委員) 農水のジーンバンクの立場は？

(土門委員) 日本のコントリビューションを示す良い機会だが、ジーンバンクの場合は点数が多いため、予算の面でまだ予定が立っていない。

- ・課題管理者よりNBRPの研究成果(論文、プレスリリース)について説明があった。
- ・課題管理者より「はるな二条」BACライブラリーのアリゾナ大でのバックアップの更新についての説明があった。
- ・課題管理者よりIPKでのグローバル作物多様性トラスト(GCDT)主催の会議(作物近縁野生植物の活用に関するワークショップ:2013年11月)に関する説明があった。
- (辻本委員) 解析対象の野生種はどのように考えているか？
- (課題管理者) オオムギの場合、スポンタニウムやバルボッサムなどを予定している。
- ・辻本委員からGCDTについての説明があった(土門委員より補足説明)。

その他

- ・系統のSNP情報の活用について以下の質疑応答があった
- (山崎委員) 今年度計画中のSNP情報の公開について、5000品種以上の大量の情報が得られているが、皆さんがどのように利用されていくのか？
- (課題管理者) 例えば、系統を2つ選んでSNPマップ作成する場合の多型情報を表示する。
- (最相委員) コムギのDArTマーカーのようなものは公開される予定なのか？
- (山崎委員、土門委員) まだ判らない。多分、オオムギとは切り口が違うので参考にはならないかも。
- (最相委員) ヒトのHAPMAPのようなものは参考にならないか？
- (山崎委員) 専門ではないので判らないが、情報が多いと見せ方が難しくなる。

協議事項

1. 運営委員会の体制について

- ・五月女委員と村田委員の後任について議論した
- (課題管理者) 五月女委員の職務の後任は加藤常夫氏である。
- (最相委員) 前回の会議の時に話題になった、横浜市立大の佐久間氏はどうか？
- (掛田委員長) 佐久間氏は、コムギの正規の委員になっているので、難しいかもしれない。
- (辻本委員) 異動したばかりなので、この先2、3年は難しい。
- (最相委員) 福岡県の甲斐氏はどうか？
- (掛田委員長、柳沢委員) 良いかもしれない。
- (課題管理者) 若い人は歓迎だが、出来れば立場を代表して取りまとめることが出来る人が望ましい。
- (柳沢委員) 栃木、福岡、長野の各県農試のヘッドに当たる人は良いかもしれない。加藤氏や甲斐氏は該当する。
- (掛田委員長) 柳沢委員が、今年度中に各位に打診し、候補者を推薦する。村田委員は留任で、次年度以降に変更を検討する。

2. リソースのバックアップについて

(課題管理者) スパールバルへの種子預託を追加したいと考えている。BACはアリゾナ大学でバックアップする。cDNAは、京大の那須田先生にお願いしているが、シーケンスや

リアレイの必要があり、多少時間がかかる。

3. 新規リソースについて

(課題管理者) 本年度は、DH系統 (はるな二条×赤神力) を追加予定。増殖も完了している。

(小松田委員) こちらからは、増殖の必要がない系統を寄託可能。

(掛田委員長) M2種子の一般公開はどうか？

(課題管理者) 今年、加藤委員と武田委員が栽培しているのでその様子を見て判断する。

4. ユーザー拡大について

(土門委員) 学校教育用に配布するようなことは考えているか？

(課題管理者) 成果報告にも「教育用」の項目があり可能性である。

(小松田委員) 運営委員会に準じるような会議を学会等で行うのはどうか？例えば、作業部会のようなものを行った方が良いのではないか？その場合、委員だけでなく多くの人 (ユーザー) が参加できる形が望ましい。

(辻本委員) 多くの人に参加して、特に若い人が意見を言うことは良いことだと思う。そうすれば、自分たちが支えているリソースであることが自覚できて刺激にもなる。

(掛田委員) 来年のムギ類研究会は三重大で開催予定。そのときにやってみてはどうか？
以上から育種学会ではNBRPコムギの委員会が開催され、オオムギ委員会の追加開催は難しいため、ムギ類研究会のときに試行する。

(山崎委員) PubMedのリンクアウトに参加できるので、PubMedIDがあればNBRPのDBまで飛ぶことが出来る。オオムギの場合は、まだ実現していないので、是非参加して欲しい。

5. その他 (報告事項)

(小松田委員) 今週、オオムギ、コムギの縮萎縮病ワークショップを札幌で行った。海外からも研究者を招聘し、今後の迅速な遺伝子単離のプロセスなどについて話し合った。抵抗性遺伝子について遺伝子シンボルの変更があったので、レビューを Breeding Science 誌等に投稿して周知する予定である。

(土門委員) 4月からジーンバンク配布料の価格が値下げされた。IPTGR の関係で無料配布できる遺伝資源も増えた。来年2月に、長期種子庫が完成する。

(辻本委員) 動物の NBRP で、ゲノム編集技術によるリソースの提供が開始されている。しかし、作物の場合は多様性 (自然変異) の収集、維持が非常に重要であると考えている。NBRP の4期目に向けて、この点を重点的に整備した方が良い。

(書記：久野、文責：佐藤)